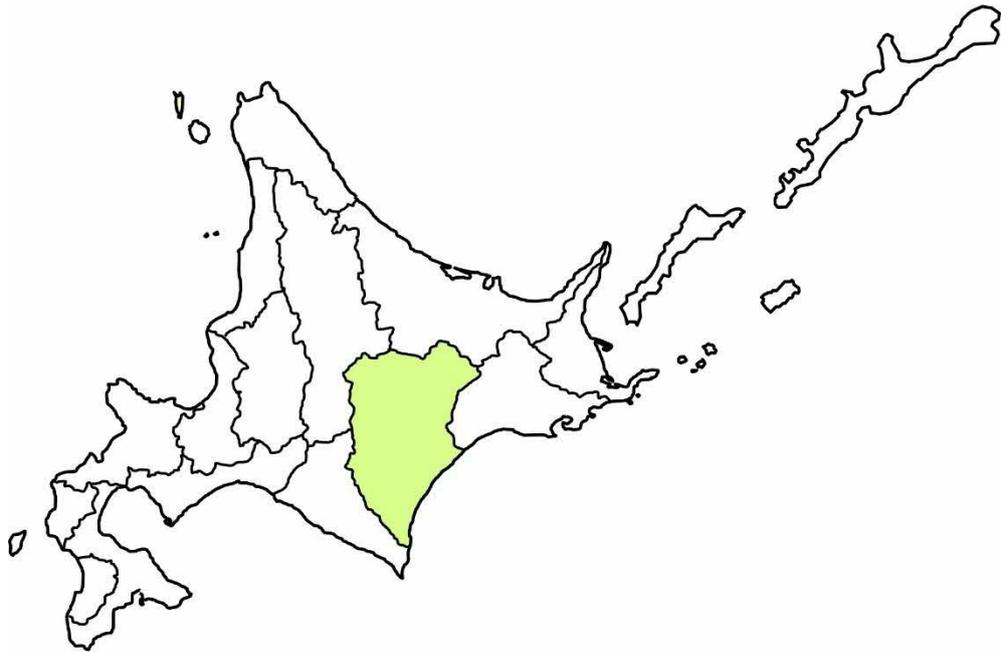


**十 勝 連 携 地 域**  
**政 策 展 開 方 針**  
**〔次期方針（素案）〕**

十勝地域



令和3年9月

# 目 次

1	はじめに	1
	基本的な考え方	
	方針の位置づけ	
	方針の構成	
	方針の推進期間	
2	地域のめざす姿	3
3	これまでの取組と課題	4
	連携地域のこれまでの取組と課題	
	振興局所管地域の主な課題	
4	主な施策の展開方向	9
	連携地域の主な施策の方向	
	重点的な施策の方向	
5	地域重点政策ユニット	12
6	方針の推進	21
	推進の考え方	
	効果的な推進	
	推進管理の体制	
7	附属資料	

※附属資料は、原案においてお示しする予定です。

(注) 本文中の「○○○\*」は、用語解説に掲載する用語を示すもの。

# 1 はじめに

## 基本的な考え方

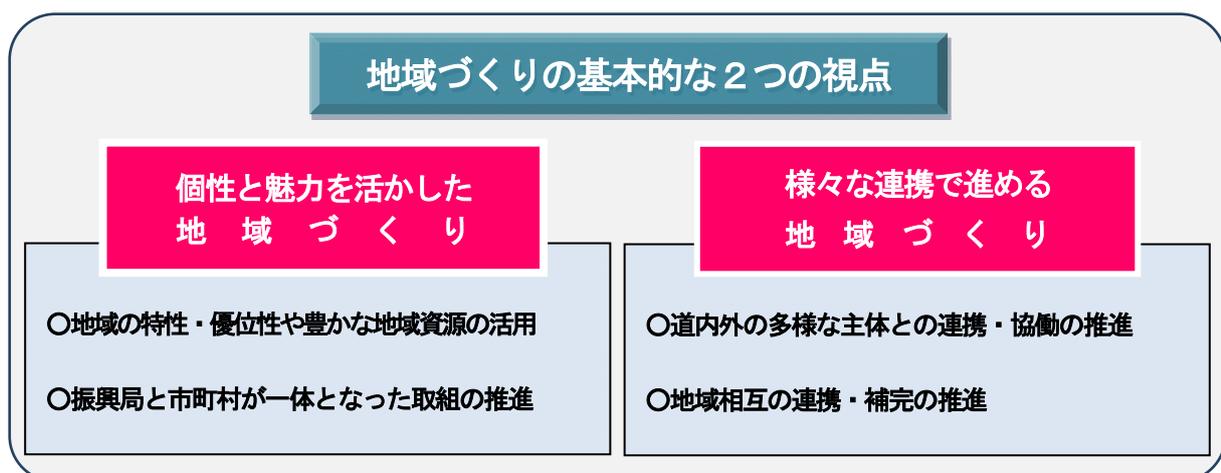
今、本道は急速に進行する人口減少などの難題に直面しています。さらには、新型コロナウイルス感染症という危機の発生により人や物の流れが抑制されるなど、新たな課題も表面化してきています。

一方、新型コロナウイルス感染症への対応を進める中で、人々の考え方や行動に変化が生じ、距離や地域構造などこれまで本道にとってハンディとなっていたものが新たな価値へ転換してきているほか、デジタル化の推進や脱炭素化及び気候変動への適応に向けた動きの加速化など、社会が大きく変革する兆しが見え始めています。

こうした中、広大な本道の地域振興を効果的に進め、様々な地域課題を解決しながら、本道が将来にわたって発展していくためには、官民連携をはじめ多様な主体と連携・協働し、これまで以上に地域の特性や資源などを活用した取組を持続的に進めるとともに、市町村、振興局所管地域、連携地域といった様々な地域の単位において相互に連携・補完し合うことが必要です。

また、2050年までの「ゼロカーボン北海道」の実現は、環境と経済を好循環させるとともに、あらゆる社会システムに転換をもたらすものであり、分野横断的な取組が必要となることから、各政策分野において様々な主体がその実現に向けた取組を進めることにより、持続可能な地域づくりにつなげていくことが重要です。

この方針は、北海道総合計画（以下、「総合計画」という。）第5章に掲げる次の基本的な2つの視点に基づき、第3章「中期的な推進方向」に掲げる「危機に対する強靱な社会を構築」、「北海道の真価の発揮」、「社会の変革への挑戦」の3つの重視すべき視点も踏まえながら、地域の総力により地域づくりを進めるため、市町村や地域の関係者の参画を得て、振興局が主体となり策定します。



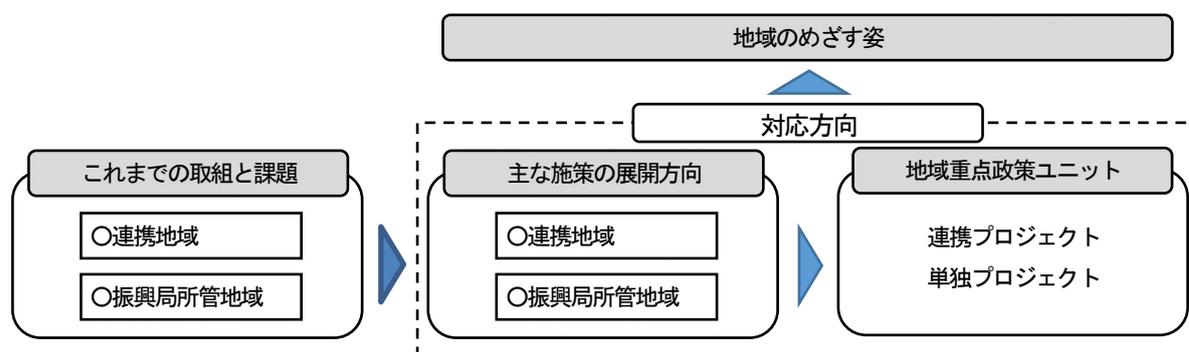
## 方針の位置づけ

この方針は、北海道地域振興条例第5条に基づき総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って、広域的な地域の区分ごとに地域振興を効果的に推進するための地域計画として策定するものであり、総合計画を推進する手立ての一つとなるものです。

また、総合計画に基づく重点戦略計画である北海道創生総合戦略の「地域戦略」としての位置付けを併せ持つものです。

## 方針の構成

地域のめざす姿	・総合計画の終期である令和7年度を目途にめざす地域の姿を示しています。
これまでの取組と課題	・連携地域と振興局所管地域におけるこれまでの取組と今後の課題を示しています。
主な施策の展開方向	・方針の推進期間における連携地域の主な施策の方向、振興局所管地域の重点的な施策の方向を示しています。
地域重点政策ユニット	・「主な施策の展開方向」に基づき、重点的に取り組むプロジェクトを示しています。



## 方針の推進期間

令和3年度（令和4年1月）から概ね4年

## 2 地域のめざす姿

---

「食」を中心とした関連産業等の展開により、  
多様な主体が輝く、  
魅力ある道東の拠点「十勝」

国内有数の「食の拠点」として農畜産業を中心とした関連産業や観光業、宇宙関連産業など、十勝の強みを最大限に活かした産業の振興に取り組みます。

また、豊富なバイオマス資源の活用のほか、省力化や情報化などの技術を取り入れたスマート農業の推進、関係人口の創出・拡大等により多様な人材が活躍できる地域づくりに取り組みます。

### 3 これまでの取組と課題

#### 連携地域のこれまでの取組と課題

※ 平成28年7月策定の十勝連携地域政策展開方針の「連携地域の主な施策の方向」に基づき整理したもの。

#### ○ たくましく力強い農林水産業の展開

##### 【これまでの取組】

- ・生産基盤の整備や農業技術の普及、担い手の育成・確保、クリーン農業<sup>\*</sup>の推進など、生産力の強化や安全・安心な食の提供に向けた取組を行っています。
- ・十勝産の牛肉や長いもなどの農畜産物の海外展開やブランド力向上を目指して、管内の関係機関が相互に連携した取組を展開するなど、十勝の「食」の付加価値向上への取組を行っています。
- ・安定生産に必要な栽培漁業の推進に対する支援を行っています。
- ・森林認証に関する勉強会や登録事業体の育成に向けた研修会の開催、地域材を活用する工務店等との意見交換会の実施など、林業・木材産業の振興に取り組んでいます。

##### 【課題】

- ・農林水産業を取り巻く環境が変化する中、安全・安心で高品質な農水産物の安定的な生産・供給を継続するとともに、多様な人材の農業参画による担い手対策や地域の営農戦略に基づく生産基盤の整備、6次産業化を進める必要があります。
- ・生産性の高い土地基盤等に合わせたICTやロボットなどのスマート農業技術の導入を促進していく必要があります。
- ・耕畜連携による土づくりや農業研究機関等と連携した生産技術の向上を促進して、環境と調和した農業を推進する必要があります。
- ・種苗放流などの効果的な資源添加や、安定的な生産が見込める養殖漁業などの栽培漁業を推進・強化し、主要魚種の大幅な減産や魚価の低迷に対応する必要があります。
- ・森林づくりを担う人材の確保・育成や森林づくりに対する理解の促進に取り組む必要があります。
- ・地域材の高付加価値化等の取組により、地域材の需要拡大を図る必要があります。

#### ○ 創造性あふれる産業の推進

##### 【これまでの取組】

- ・十勝産品の知名度向上やブランド化の推進を目的に、十勝の食や観光資源を海外向けにSNSにより情報発信するほか、国内物産展や道の駅でのPRなど十勝の魅力について国内外に広く周知しています。
- ・十勝産品の販路拡大を目指して、業界団体と連携しフェア等を開催しています。
- ・首都圏等において包括連携協定締結企業と連携し、イベントに出展するなど、十勝の食や観光をPRしています。
- ・経営の状況や課題を把握するため、管内企業を訪問し各種支援策に関する情報提供を行っています。

### 【課 題】

- ・首都圏等において十勝産品の更なる PR に取り組み、認知度を向上させ、十勝ブランドを確固たるものにする必要があります。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少した事業者を対象とした販路拡大支援に取り組む必要があります。
- ・ものづくり産業など経済波及効果の高い企業立地や新事業創出の促進に取り組み、地域産業を活性化させる必要があります。

## ○ 地域資源をネットワーク化した観光振興と交流促進

### 【これまでの取組】

- ・首都圏等の地元メディアや旅行会社等に対し、十勝の食・観光ツアーの売り込みを実施しています。
- ・管内市町村や関係団体と協力し、十勝管内のインスタ映えするスポット等を取りまとめ、関係者及び観光客による SNS での情報発信・拡散キャンペーンを展開しています。
- ・交通事業者と連携したバスチケットの販売 PR など、公共交通の利用促進に取り組んでいます。
- ・アクティブシニアを対象にセミナーの開催や体験・交流等のモニターツアーなど、移住・定住の取組を進めています。

### 【課 題】

- ・新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら段階を踏んだ誘客に取り組み、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した国内外の観光客を回復させる必要があります。
- ・道内他地域と比較すると低い傾向にある宿泊客や道外客の誘客促進のため、滞在型観光に取り組む必要があります。
- ・冬期間に観光入込客数、宿泊者数が減少するなどの季節的な偏在を解消するため、通年の入込客数等の確保について取り組む必要があります。
- ・広域的バス系統や鉄道などを基軸とした観光地までの更なるシームレスな交通サービスを推進していく必要があります。
- ・移住施策の推進に加え、関係人口の創出・拡大への取組を進める必要があります。

## ○ いきいき暮らせる地域社会の形成

### 【これまでの取組】

- ・高齢者や障がいのある方、子どもの保育に係る福祉サービスについて、市町村や道の計画に基づき整備を進めています。
- ・子どもの居場所づくりの支援として、子ども食堂の開設や運営に係る支援を実施しています。
- ・保育士のキャリアアップ研修会等の実施により、職場への定着促進を図っています。
- ・介護職員の負担軽減の促進のため、ICT化を図る説明会等を実施しています。
- ・男女平等参画に関する住民向け講演会などを実施しています。

**【課 題】**

- ・多様化するニーズに対し必要なサービスが提供できるよう、高齢者や障がいのある方、子どもの保育に係る福祉サービスを、市町村や道が関係機関と連携しながら取組を進めていく必要があります。
- ・保育職及び介護職の人手不足解消に向け、人材確保や職場定着を進めていく必要があります。
- ・男女平等参画に関する普及・啓発を継続的に行い、地域全体における意識を高める必要があります。

**○ 地域環境に配慮した持続的社会的形成****【これまでの取組】**

- ・地域住民を対象とした環境学習会や地球温暖化防止のセミナーの開催など、地球環境対策の取組を推進しています。
- ・森林が持つ多面的な機能が適切に発揮できるよう、森林所有者や関係機関・団体等の連携による森林づくりを推進しています。

**【課 題】**

- ・ゼロカーボン北海道の実現に向け、住民参加型のエコ活動や環境学習など市町村と連携した環境保全の取組を継続していく必要があります。
- ・伐採後の確実な更新や間伐等による森林整備を継続して進めていく必要があります。

**○ 先進技術や再生可能エネルギー\*などの普及を活かした地域づくり****【これまでの取組】**

- ・環境意識の醸成に向けたイベントを開催するなど再生可能エネルギーの普及・啓発活動を行っています。
- ・関係機関と連携し、宇宙ビジネスの経済波及効果や理解促進に向けたセミナーを実施するとともに、各種イベントにおいて十勝の宇宙への取組に対するPRを実施しています。
- ・担い手・関係機関向けへの研修や生産から先端技術の導入・分析を通して技術指導・助言、普及しながら、農業分野 ICT の地域での導入を進めています。

**【課 題】**

- ・再生可能エネルギーの導入促進に向け、地域特性を活かしたエネルギーの地産地消の取組を更に展開していく必要があります。
- ・民間事業者等による宇宙関連産業への新規参入等の取組が活発化していることから、関連企業と連携して一層の機運醸成を図る必要があります。

## ○ 災害に強い地域づくり

### 【これまでの取組】

- ・地震津波対策や火山災害対策、緊急輸送路の整備や農地・農業用施設の防災対策、豪雨災害に備えた治水・治山事業の実施などにより、災害に強い地域づくりを推進しています。
- ・胆振東部地震の検証結果や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所マニュアルの見直し、物資の備蓄を進めています。
- ・「とちかち広域消防事務組合」をはじめ、関係機関が広域に連携しながら防災対策に向けた取組を行っています。

### 【課題】

- ・災害に備えた防災基盤の整備や地域における防災・減災体制の充実強化を継続的に図っていく必要があります。
- ・関係団体と連携しながら、停電対策や寒さ対策、感染症対策に対応する設備・物資の備蓄や避難所マニュアルの見直しを行うとともに、地域全体の防災意識の向上に向けた取組を進める必要があります。

## ○ 生命（いのち）と暮らしを守り我が国の食料供給と産業を支える交通・情報ネットワークの形成

### 【これまでの取組】

- ・北海道横断自動車道（道東道）、帯広・広尾自動車道の整備促進や帯広空港、十勝港の機能拡充のほか、鉄道、路線バスの確保など交通ネットワークの形成に取り組んでいます。
- ・管内では、光ファイバー網を始めとする超高速ブロードバンドなど情報通信基盤の整備が進められています。

### 【課題】

- ・公共交通ネットワークの確保のため、利用促進や二次交通の充実に取り組んでいく必要があります。
- ・医療や防災など地域の暮らしを支える超高速ブロードバンドの整備を進めていく必要があります。

## 振興局所管地域の主な課題

### 十勝地域

#### ■食関連産業の充実と十勝ブランドの確立

- ・十勝は、国内有数の食料供給基地として、安全・安心で高品質な農水産物を全国に向けて供給しており、その地位を確固たるものとするためには、引き続き、生産者、民間企業関係団体等が一体となって生産体制の充実や十勝ブランドの確立に向け、取組を進めていく必要があります。
- ・SNS等での十勝産品の情報発信や首都圏等で開催される物産展への積極的な出展など、あらゆる機会を活用して販路拡大に取り組む必要があります。
- ・新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、十勝の食・観光資源に関する国内外への情報発信を戦略的に行っていく必要があります。

#### ■滞在型・周遊観光の促進

- ・十勝は、道内他地域と比較して、宿泊者や道外客（インバウンド含む）の割合が低いことから、観光コンテンツの新たな魅力発信やシームレスな交通サービスの提供による利便性向上等により、滞在型・周遊観光に向けた取組を進め管外からの誘客を促進していく必要があります。

#### ■地域の脱炭素化の推進と未来技術の活用

- ・道内有数の森林資源の活用など、自然環境の保全・適正利用を推進していく必要があります。
- ・家畜ふん尿を原料とするバイオガス発電をはじめ、地域資源を活用した幅広い再生可能エネルギーを導入するなど、ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を進めていく必要があります。
- ・関係機関と連携しながら、宇宙に関する研究・実験拠点化に向けた取組などにより管内における更なる宇宙関連産業の振興へつなげていく必要があります。
- ・また、管内で進められている超高速ブロードバンド基盤の整備により、ICTを活用したスマート農業の導入が期待されていることから、今後、地域や個々の経営状況に応じたスマート農業技術の普及を推進し、農業経営の大規模化や労働力不足に対応していく必要があります。

#### ■地域を支える人材の確保・育成と地域づくり

- ・十勝ならではの地域特性を活かし安定した産業振興を図っていくためには、一次産業を含め、様々な分野における後継者（担い手）の育成・確保に取り組んでいくほか、定住人口や関係人口の創出・拡大に取り組んでいく必要があります。

## 4 主な施策の展開方向

### 連携地域の主な施策の方向

- **たくましく力強い農林水産業の展開**
  - ・担い手の育成・確保及び定着と生産基盤の強化に向けた効果的な取組の促進
  - ・農水産物の加工や輸出など農林水産業における6次産業化<sup>\*</sup>の促進
  - ・生産性の高い土地基盤等に合わせたICTやロボットなどのスマート農業技術の導入促進
  - ・安定的な生産体制の創出に向けた海面養殖業の新たな取組の支援
  - ・適切な森林の整備や地域材の利用拡大による森林資源の循環利用
  - ・林業イノベーションによる更なる低コスト化・生産性向上
- **創造性あふれる産業の推進**
  - ・産学官金<sup>\*</sup>や関連産業の連携による十勝産品のブランド力強化
  - ・国内外での販路拡大に向けた取組の促進
  - ・ものづくり産業など経済波及効果の高い企業立地や新事業創出の促進
- **地域資源を活かした観光振興と交流推進**
  - ・豊富な地域観光資源の磨き上げとネットワーク化による魅力ある通年・滞在型観光地づくりの促進
  - ・ポストコロナにおける海外に向けた情報発信の強化と外国人観光客の受入体制の整備
  - ・ポストコロナにおける航空、鉄道、バスなどの各交通モードの連携強化により更なる利便性向上に向けた取組の促進
  - ・地域の生活と産業を支える交通ネットワークの確保及び充実
  - ・移住施策の推進や関係人口の創出・拡大に向けた受入体制の整備促進
- **地球環境に配慮した地域の脱炭素化の推進と未来技術を活かした地域づくり**
  - ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた市町村のゼロカーボンシティ宣言等の促進
  - ・脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルへの転換に向けた意識や行動の改革
  - ・3Rの取組による持続可能な資源利用の促進
  - ・地球温暖化防止や生物多様性<sup>\*</sup>に資する森林などの整備や自然環境の保全
  - ・バイオマス<sup>\*</sup>等を活用した再生可能エネルギーの普及促進
  - ・管内における更なる宇宙産業の促進
- **生命（いのち）と暮らしを守り、安全・安心にいきいき暮らせる地域社会の形成**
  - ・地域医療と保健・福祉の提供体制の確保・充実、少子化対策に向けた取組の促進
  - ・高齢者・障がいのある方など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり、男女平等参画の取組の促進
  - ・新たな感染症に対する医療提供体制の確保
  - ・地震津波や感染症などの各種災害に備えた防災・減災体制の強化
  - ・災害に対応した設備の充実及び物資の備蓄
  - ・地域防災意識向上に向けた取組の促進

## 重点的な施策の方向

### 十勝地域

豊富な農畜水産物を活用した商品開発や十勝ブランド力の強化を推進し、十勝の魅力溢れる資源を活かした観光地づくりを進めます。

脱炭素型の地域づくりと2050年までの「ゼロカーボン北海道\*」の実現に向けた再生可能エネルギー\*の利活用や、ドローン・自動運転等未来技術の産業利用に向けた取組を進めます。

また、農林水産業など地域産業を支える人づくりと、ワーケーションなど人材交流を促進するための環境づくりを推進します。

